

会報

山口七夕会

令和8年（2026年）9月

第61号

発行：会報編集委員会／事務局

題字／書・原野和夫 氏



山口七夕ちょうちんまつり（令和8年8月6日、7日）

< 目 次 >

会長代行挨拶	3
第 13 回 山口七夕会親睦ゴルフコンペ 八木 重二郎杯(レポート)	4
ありがとう秋草さん メモリアルパーティー(レポート)	5
コロナ渦から数年後・この 3 年間の歳時記	6
夏ウォーキング 2026	8
1年間のイベント記録	10
新入会員及び法人会員の皆さん	12
イベント等のお知らせ	13
<山口市役所より>山口市ふるさと産品販売イベントの御案内と御礼	14
投稿募集／役員募集／公開名簿掲載承諾のお願い	15
メールアドレス登録のお願い／事務局からのご案内／編集後記	16

※会報は山口七夕会のHPにもアップします。HPでカラー版をお楽しみください。

会長代行挨拶

山口七夕会の皆さまにおかれましては、初秋のさわやかな風が心地よい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。日頃より本会の活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。秋草会長のご逝去から月日が流れ、皆さまの力強いお支えをいただきながら会長代行として務めを続けております。会長が長年にわたり築かれたご功績と、会の発展に寄せられた深い思いを改めて胸に刻み、その志を継承しながら会の運営に尽力してまいります。

9月は、夏の余韻と秋の気配が交差する節目の時期であり、心身を整え、次の季節へ向けて歩を進める大切なタイミングでもあります。七夕会としても、これまでの活動を振り返りつつ、今後の方向性を見つめ直す機会として位置付けております。会員の皆さまが安心して参加でき、世代を超えて温かな交流が育まれる場を守り続けることが、私たち役員一同の変わらぬ使命であると考えております。

その一環として、**10月31日（土）に総会の開催を予定しております。**本総会は、会の現状をご報告するとともに、今後の活動方針を皆さまと共有し、より良い運営に向けてご意見を頂戴する貴重な場となります。会長の思いを受け継ぎながら、七夕会が地域に根差し、文化と交流を次代へつないでいくための重要な節目となりますので、ぜひ多くの皆さまにご出席いただければと思います。同封しております総会のお知らせで出欠のご連絡を頂ければ幸いです。

また、地域との連携を深める取り組みについても、引き続き力を注いでまいります。山口の文化や魅力を次の世代へ伝える活動は、七夕会が長年大切にしてきた価値であり、会長が示された方向性でもあります。皆さまのお知恵とご協力を賜りながら、より豊かな会の運営を進めてまいりたいと存じます。

季節の変わり目ゆえ体調を崩しやすい時期でもありますので、どうぞご自愛のうえお過ごしください。皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和8年（2026年）9月

山口七夕会 会長代行 藤井 謙志

第 13 回 山口七夕会 親睦ゴルフコンペ 八木重二郎杯（レポート）

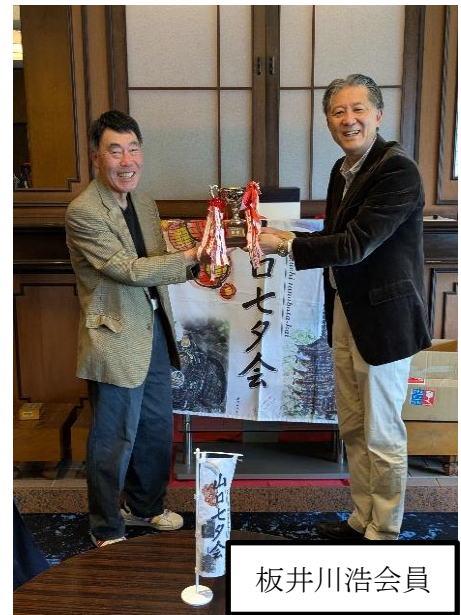
板井川 浩（会員 NO. 783）

例会通り、2026 年 5 月 22 日金曜日、埼玉県入間郡毛呂山町のオリムピックナショナルゴルフクラブウェストコースにて行いました。参加者は 7 名 2 組でした。

ここ数回のゴルフ場は、西村弘文会員の紹介のオリムピックナショナルゴルフクラブにて行われています。始めは、イーストコースでしたが、みなさんがスコアを出しやすいように配慮して、今はウェストコースで行われています。パー 72 ですが、ロングとショートがアウト・インそれぞれに 3 ホールあります。

当日は前日までは雨でしたが、朝礼の時に雨は上がりました。みなさん行いが良いとスタートしたところ、小雨が降りだし、半袖では肌寒い気温となりました。今年初めてのカップを着ることになりました。プレーの 3 分の 2 ホールは雨でしたが、終わり近くには雨も上がり、気持ちよく回ることができました。

優勝者は、板井川浩（いたいがわひろし）会員、グロス 103、ハンディキャップ 28.8、NET74.2 でした。準優勝は山根好人会員、ブービー賞は利重尚義会員でした。ベスグロは西村弘文会員の 95、100 を切られたのは西村会員のみでした。みなさん、スコアの出やすいコースのはずのウェストコースに苦戦されました。優勝の板井川会員曰く、「2024 年 11 月に続き 2 回目の優勝で、前は 111 も叩き、今回も 103 と 100 以上を叩き、ハンディとメンバーに恵まれ 2 回目の優勝ができました。恥ずかしい限りです、次回は 100 を切って優勝をしたいと思います」とコメントされました。次回は、本年 11 月 17 日（火）に開催を予定しています。みなさんが参加しやすいスコアの方が多いので、気軽にご参加ください。誰にも優勝のチャンスがあります。女性の方の参加も大歓迎です。



ありがとう秋草さんメモリアルパーティー（レポート）

本部・本部長代行 西村 弘文（会員 No. 464）

令和8年8月8日（土）正午から、「ありがとう秋草さんメモリアルパーティー」を別邸福の花浜松町店にて開催しました。

この会は、本年3月2にご逝去された秋草会長を偲び、感謝の気持ちを新たにすることを目的として開催しました。当日は、最高気温が35℃の猛暑日となりましたが、予定通りに21名の会員が集まりました。これも、山口市の文化と人の繋がりを大切にされ、山口七夕会の活動に積極的に参加されてきた秋草会長のお人柄ゆえだと感じます。

会場には定番である七夕会の旗とちょうちんと共に、日本酒（周防美人）を持ってニコリされている秋草会長の遺影を飾りました。また、会場正面のスクリーンには思い出の写真をスライドショーにして投影しました。

会は、藤井会長代行の挨拶から始まりました。藤井会長代行は、秋草会長への感謝の言葉と共に、その意を受け継いで若い世代も参加して交流を深めていける会にしたいとの抱負を述べました。次に、全員で献杯した後に食事と懇談の場となりました。

口の回りが滑らかになったところを見計らい、今津英敏さん、寺田ひとみさん、徳久徹さん、奥原保さん、山根和也さん、5人の方から、秋草会長の思い出を披露してもらいました。中学、高校の同期であった今津さんからは、「勉強好きで、多様性と茶目っ気がある人だった、また、ピアノの他にバイオリンの演奏もうまかった。」との話がありました。今津さんの妹である寺田さんからは、「子供のころに秋草さんが家に泊まりに来て一緒に遊んだ。高校に入学してESS部に入部した際に、部長であった秋草さんから発音を注意された。」との話がありました。最後の山根さんは、男声合唱団の団員であった秋草さんを偲び、ローレライを歌って締められました。

後半には、「山口のことしちよるクイズ」で楽しみました。「旧山口県庁舎の建築様式は何か?」「山口線に無人駅はいくつあるか?」等、影山副幹事長がひねり出した6問の奇問に対して6名の方が5問正答で同率1位となり、用意した「ふくだるまボールペン」等の賞品は一気になくなりました。1位となった方は、寺田さん、児玉さん、品川さん、奥原さん、山根さん、田村さんでした。

秋草会長に思いを致しながら、山口を思い出した、楽しい会になりました。



コロナ禍から数年後・この3年間の歳時記

山口七夕ふるさと大使 山口七夕会顧問 奥原 保(会員 No. 330)

(はじめに)

5年前に「コロナ禍巣ごもりの中の歳時記」を会報に掲載させていただき、5年の歳月が流れた。パンデミックを経験して、勉強することの喜びを感じ、宗教・哲学・歴史・自然科学・社会科学などあらゆる分野の本を読んできた。記憶力は「いつ、どこで、何をしたか」という(エピソード記憶)は40歳代から低下する一方、知識や概念の記憶(意味記憶)は80歳代まではほとんど低下しないとのこと。パンデミック後も毎月歳時記を書き続けてきており、直近3年一部抜粋してご紹介したい。

2024年

(新春)元旦の能登半島地震で被災された方たちはお気の毒で、一日も早く復旧して日常生活を取り戻されることを祈るばかり。奥原家は元旦鬼怒川温泉のホテルで、息子・娘夫婦その孫4人の総計10名が集い、金婚式(50周年)のお祝いをしてくれた。曹洞宗では料理人が上位の典座(てんぞ)という役割を担う。まず、毎日の食生活に気を使ってもらっている妻に感謝。奥原家の「三世十方のいのち」が宿っているのを感じ、子供・孫たちが平和に暮らしていくことを願う。

(晩秋)白石中学の同窓会で3泊4日山口に行ってきた。60年余タイムスリップして楽しいひと時を過ごした。翌日毛利元就の菩提寺・洞春寺(臨済宗)の深野住職とお会いし、観音堂で般若心経をお唱えした。洞春寺は南禅寺派で鈴木大拙、柴山全慶の流れをくむ名利。宗派は違えど同じ禅宗同志、ご住職との話しが弾んだ。「坐禅ひとすじ」を行き帰りの新幹線で読み終えた。道元禅師から瑩山禅師までの曹洞禅の流れがよく掴め、以前学んだ達磨大師から六祖慧能までの中国の禅の歴史と共に、修行(行持)の糧にしている。

2025年・ICS若手研修で投げかけたこと

(春)禅の修行の経験から、会社経営にもところがあることを若手社員に教示してみた。①人をたばねるころ②事業を伸ばすころ③組織を活かすころ④未来をひらくころ・・・「利他」という思想の大切さを企業で働く人たちに理解していただきたいと思っている。「世のため人のために尽くす」ことが人間として最高の行為であるとブッダは私どもに説いておられる。人間の欲望には際限がない。だからこそ物的なものでなく、心の内から燃えるような魂を目覚めさせたいと願っている。

(夏)「利他とは何か」を読み終え、「ブルシット・ジョブ=クソどうでもいい仕事」が利他にどのようなつながっていくか皆で考えてみた。数値化できないものを数値化する欲望と、その背後にある欲望があげられた。また信頼を築き上げることの大切さを学んでもらった。

(秋)私のリーダー論ではインド出身の亀田製菓会長の資質について学び、インドのジュガードという考え方を経営に取り入れている。イノベーションと付加価値を生み出すための手段として大いに参考になった。またスズキの現地法人のインド人社長は、カースト制度などの身分制度のない労働文化を浸透させた日本の姿を参考にしたようである。

(冬)南直哉著「苦しくても切ないすべての人たちへ」の「育成の困難」の章を、研修の教材にさせていただいた。上に立つものに無くてはならないものは「度量」である。度量とは何か。それは「下に」任せる能力である。「下」が仕事に成功したら、「上」は全面的に「下の手柄」を認める。自分を勘定に入れない。私の経験から経営に関する様々な実例を示し、日々の修行の積み重ねが「度量」を大きくすると示唆。

2025 年 12 月・・・ICS 退職にあたって

年内で 55 年勤め上げた仕事に終止符を打つので、飛ぶ鳥跡を濁さないよう最後のご奉公をしている。22 歳～59 歳の 37 年間古河電工、59 歳～77 歳の 18 年間 ICS ホールディングスに勤務。古河時代の最後の方に ICS の創業者と出会いがあった。人を育てながら会社を大きくする、財務で経験を積んできた私に白羽の矢を立てていただき、本当に幸運な出会いであった。若手がそれぞれ優れた役員、経営幹部に育ってきており嬉しい限り。

鬼怒川温泉で盛大な送別会をしていただいた。日中は私にとって最後の経営会議・役員会、夜は共に学んだ研修生の中間管理職もかけつけていただき、数多くの記念品や創業者からは 30 本のバラ、栃木工場からは花束をいただいた。私から最後の挨拶として、「次の世代の人材を育てる、会社をとりまく得意先や業者との関係を大切に・・・などごく当たり前の言葉を皆さんに投げかけた。家に帰り、いただいた花を花瓶に飾りながら、ICS の役員・社員の温かさがこころの中に広がる。



薔薇の贈り物

2026 年・・・最近思うこと

(夏)世界初演のオペラ「ZEN」を観劇した。第 2 次大戦前夜、哲学者西田幾多郎と仏教学者鈴木大拙が敵と味方を分ける西洋の二者択一の論理を乗り越えようと苦闘する内容。大変見ごたえがあり、日本の能に近いオペラ。クライマックスでは「ワンダフル」のフーガと般若心経の合唱が入り乱れ、もう少し長い時間聴きたくなるような空間であった。

(おわりに)

中尾佐助著「花と木の文化史」を読書中。日ごろ何気なく目にしている花や木も、実は多様な民族の、長い文化的営為によって生み出されていること、また日本の園芸文化の独自性に説き及んでいることを理解しつつある。知人から早朝に、50 年から 100 年に 1 度あらわれるという大変珍しい双頭蓮の写真がラインで送られてきた。良いことがおきる前兆や見ると幸せになれるなどの言い伝えがある。パンデミックの終息から数年、その間地震・水害などで多くの不幸に見舞われた。また世界ではやらなくてよい戦争で多くの命が奪われている。双頭蓮は世の中に警鐘を鳴らすために、このタイミングで花開いたようだ。己自身これから「深まるほどに足りない自分に気づく」を肝に銘じて、生涯修行を続けていきたい。



幸せを運ぶ双頭蓮

夏ウォーキング2026（源覚寺～麟祥院）

本部・副本部長 岡本達也（会員No.670）

2026年の東京桜ウォーキングは3月28日(土)晴天の中で護国寺～大隈記念講堂を巡りましたが、7月18日(金)の猛暑の中、源覚寺～麟祥院の夏ウォーキングを行いましたので報告します。

●源覚寺

常光山源覚寺が祀る文京区指定有形文化財である閻魔像は、古くより「こんにやく閻魔」として地域から親しまれています。



【写真-1 源覚寺、ほおずき市】

●小石川墓陵

源覚寺が運営する小石川墓陵は、アットホームな雰囲気で心安らぐ永代供養付きの納骨堂でした。故秋草史幸会長が供養されていますので皆でお参りました。



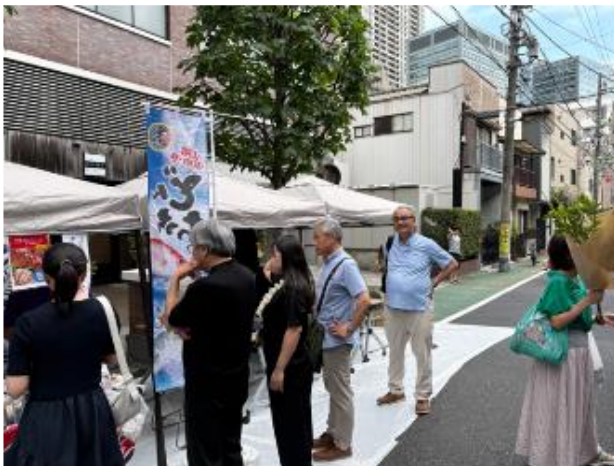
【写真-2 小石川墓陵】



【図-1 ウォーキングコース】

●ほおずき市

当日は、夏の風物詩「文京朝顔・ほおずき市」が趣き「こんにゃく閻魔」で知られる源覚寺がメイン会場でした。島根県津和野町東京事務所も猪串、魚炙り焼き、クラフトビール、特産品の販売で出店されていました。山口七夕会としてご挨拶してクラフトビールを味わいました。



【写真-3 津和野町東京事務所の出店(ほおずき市)】



【写真-4 津和野町東京事務所】

●麟祥院

春日局の墓は、文京区湯島4丁目にある臨済宗寺院の麟祥院境内にあります。麟祥院は、寛永元年（1624）春日局隠棲所として創建され、局の死後、そのまま菩提寺とし法名にちなみ「天澤山 麟祥院」となった寺院です。春日局の孫の稲葉正則の正室は万菊（正厳院）ですが、毛利元就の孫の秀元の娘であります。春日局のお墓の横に正厳院のお墓もありました。



【写真-5 春日局像】



【写真-6 春日局墓所】



【写真-7 墓所案内図】

1年間のイベント記録（令和7年度総会～）

【七夕会事業】

<本部>

（1）山口七夕会年次総会

日時：令和7年7月5日（土）

場所：インテリジェントロビー・ルコ

内容：総会

講演会「地球の歩き方 山口市」制作記念講演 編集長 由良暁世 氏
懇親会

（2）第40回日本国際保健医療学会（山本秀樹：大会長）での告知活動

日時：令和7年11月1日（土）及び2日（日）

場所：帝京大学板橋キャンパス

（3）第12回八木重二郎杯 会員親睦ゴルフ

日時：令和7年11月11日（火）

場所：オリムピックナショナルGCウエスト

（4）秋の紅葉ウォーキング

日時：令和7年11月16日（日）

コース：有楽町駅～築地場外市場～浜離宮～旧芝離宮～浜松町駅

（5）秋の交流会 ～新企画～ 山口の味てんこもり

日時：令和7年11月16日（日）

場所：別邸 福の花

（6）ココキタまつり ストリートピアノ共催

日時：令和7年12月14日（日）

場所：ココキタ

（7）春のお花見ウォーキング

日時：令和8年3月28日（土）

コース：護国寺駅～東京カテドラル～椿山荘～大隈記念聖堂～早稲田駅

（8）第13回八木重二郎杯 会員親睦ゴルフ

日時：令和8年5月22日（金）

場所：オリムピックナショナルGCウエスト

（9）夏のウォーキング

日時：令和8年7月18日（土）

コース：源覚寺～小石川墓陵～ほおずき市～鱗祥院

（10）ありがとう秋草さんメモリアルパーティー

日時：令和8年8月8日（土）

場所：別邸 福の花

<ふるさと山口本部>

（1）総会&「夏の講演・交流会」

日時：令和7年8月16日（土）

場所：セントコア山口

内容：総会

講演会 元陸将・元陸上総隊司令官 住田和明 氏
懇親会

(2) 秋の講演・交流会

日時：令和7年10月18日（土）

場所：セントコア山口

講師：山口市徳地三坂神社宮司 江端希之 氏

(3) 冬の徳佐を楽しむ会

日時：令和8年1月31日（土）

場所：阿東地域交流センター

講師：環境カウンセラー/樹木医 中村祐三 氏

医師 山口赤十字病院 東 成美 氏

お米マイスター 落合せい香 氏

(4) 第9回酎祭

日時：令和8年3月7日（土）

場所：セントコア山口

講師：わかむすめ醸造元 新谷酒造（株）杜氏 新谷文子 氏

(5) 第10回山口七夕会音楽祭「輪ーR I Nー」

日時：令和8年5月30日（土）

場所：山口日産自動車（株）MLG HALL Yamaguchi

(6) 「山口七夕ちょうちんまつり」支援

日時：令和8年8月6日（木）、7日（金）

(7) 総会 & 夏の講演・交流会

日時：令和8年8月22日（土） 18：00～21：00

場所：セントコア山口（山口市湯田温泉3丁目2-7）

講師：永山酒造 杜氏 日下信次 氏

【協力事業】

(1) レノファ山口応援隊

日時：令和7年8月30日（日）、令和8年6月28日（日）、8月30日（日）

(2) シティーセールスサポート事業

ア 市町フェア（おいでませ山口館）

日時：令和7年7月18日（金）、19日（土）

令和8年7月10日（金）、11日（土）

イ やまぐちHappiness フェスタ 2025（三軒茶屋ふれあい広場）

日時：令和7年9月13日（土）、14日（日）

(3) 首都圏ー山口ネットワーク推進協議会

日時：令和7年8月8日（金）、令和8年5月18日（月）、9月7日（月）

＜ 新入会員(個人会員番号・氏名)及び法人会員の皆さん ＞

《 令和 8 年 6 月号掲載以降の新入会員 》 ※氏名、住所は公開会員名簿への掲載承諾者のみ

会 員 番 号	氏 名	住 所
925	益本 みどり	山口県山口市
926	永見 浩美	山口県山口市
927	溝部 和枝	千葉県千葉市
928	野崎 あけみ	山口県山口市

法人会員
山口日産自動車株式会社
旭水産有限会社
株式会社 常盤
株式会社 技工団
有限会社 劇団角笛
マルシフードサービス株式会社
社会福祉法人青藍会
株式会社セブンシステム
株式会社ベルミューズ
一般社団法人日本自動車連盟山口支部(JAF 山口支部)
BRAIN SIGNAL 株式会社
弁護士法人 末永法律事務所
株式会社アドギルド・ジャパン
公益社団法人 山口被害者支援センター
株式会社 小郡衛生公社
株式会社 エフエム山口東京支社
株式会社 竹内酒造場
C & C 山口
湯田温泉旅館協同組合
公立学校共済組合山口宿泊所 セントコア山口
株式会社 クリエイティブ・トゥエンティワン
株式会社 エボリューション
有限会社 船方総合農場

令和 8 年 9 月 8 日現在の会員数：個人会員 3 9 2 法人会員 2 3

イベント等のお知らせ

＜ 秋の講演・交流会（ふるさと山口本部） ＞

- 日時：令和8年10月17日（土） 18：00～21：00
- 場所：セントコア山口（山口市湯田温泉3丁目2-7）
- 講師：会田 大也 氏（山口情報芸術センター 学芸普及課長）
- 演題：地域から世界まで開かれたアートセンター YCAM
- 会費：9,000円（非会員は+500円）、講演会のみは1,000円

※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

＜ 令和8年度山口セタ会年次総会 ＞

- 日時：令和8年10月31日（土） 10：00～14：30
- 場所：インテリジェントロビー・ルコ（東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル1F）
- 内容：【総会】 10：00～11：30

【講演会】 11：30～12：30

講師：日本航空 機長 木村浩義 氏

演題：旅客機のパイロットに必要なもの

【交流会】 12：40～14：30

- 会費：6,000円（交流会に参加されない方及び学生の方は1,000円）

※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

＜ 秋の紅葉ウォーキング（本部） ＞

- 日時：令和8年11月28日（土） 13：00～19：00
- コース：等々力駅～ゴルフ橋～不動の滝～等々力不動尊～雪月花～日本庭園～等々力駅
- その他：引き続き、懇親会を計画します。

※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

<山口市役所より>

山口市ふるさと産品販売イベントの御案内と御礼

平素から、山口七夕会の皆様におかれましては、本市の産業振興に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る7月10日、11日に日本橋「おいでませ山口館」で開催した、「山口市の選りすぐり！名産品フェア」では、山口七夕会の皆様に販売の御協力をいただき、皆様のおかげで本市の魅力ある産品を多くの方にPRすることができましたこと、心より感謝申し上げます。

また、本年10月3日（土）、4日（日）に、世田谷区三軒茶屋において、ふるさと産品販売イベントに出展いたします。本市自慢の特産品を取りそろえ、首都圏の皆様に山口の魅力を発信する機会として実施いたしますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りいただきますと幸いです。



【山口市の選りすぐり！名産品フェア】
日時：令和8年7月10日（金）・11日（土）
会場：おいでませ山口館（日本橋）



【写真：2025 年の様子】
【やまぐちHappinessフェスタ2026】
日時：令和8年10月3日（土）・4日（日）
会場：三軒茶屋ふれあい広場

ふるさとやまぐち寄附金（ふるさと納税）のお知らせ

ふるさと納税制度は、ふるさとやゆかりのある地域を応援したいという思いを寄附という形でまちづくりに生かすことができる制度です。昨年度、本市には山口七夕会の皆様をはじめ、全国の皆様から約5億7千万円の御寄附をいただき、子育て支援や教育環境の充実をはじめとした様々な施策に活用させていただきました。改めまして、御支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

本市のふるさと納税では、「湯田温泉宿泊割引クーポン」をはじめ、「あいおえび」や「外郎」など、山口ならではの魅力を感じていただける約500点の商品やサービスを返礼品として取り揃えております。

また、本年は山口県で「山口 DESTINATION キャンペーン」が開催されております。ぜひこの機会に、ふるさと山口にお越しいただき、歴史や文化、食、温泉など、ふるさとの魅力を改めて感じていただければ幸いです。

寄附額：17,000 円
活きあいおえび 450g（10～18尾）

寄附額：53,000 円
湯田温泉宿泊割引クーポン

今後も、ふるさと納税の取組を通じまして、ふるさと山口に熱いエールを送っていただきますようよろしくお願いいたします。

～やまぐちの“**イイもの**”をもらっちゃおう～

【ふるさとやまぐち寄附金】

ふるさと納税返礼品や寄附の方法につきましては右記QRコードから御確認いただけます。



山口市商工振興部 ふるさと産業振興課
ふるさと産品営業担当
《tel》083-934-2812
《E-mail》furu@city.yamaguchi.lg.jp

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

< 会報山口七夕会への投稿を募集します >

1. 大使の一言(「山口七夕ふるさと大使」の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)
2. 私の一言(会員の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)

★テーマの一例

- (1) 山口市に関する豆知識
- (2) 山口県外にある山口ゆかりのものや活動
- (3) 今、思っていること

★字数

1,200 字程度の文章と写真 2 枚程度を基準。紙面構成上、フォント、行間等を調整します。

★投稿締切

1月号(12月中旬まで)、6月号(5月中旬まで)、9月号(8月中旬まで)

★投稿提出先

下記に電子データ(Word 形式)でお送りください。

会報山口七夕会編集長(西村 弘文):joe-levin01@outlook.jp

< 本部役員を募集しています >

本部(東京)では、役員を募集しています。

少ない力を集め、無理なく継続的な運営をしていきたいと考えています。我々と一緒に山口の良さをアピールしたい、新しい企画を創造して山口七夕会を盛り上げていきたいという方は、本部長代行の西村までご連絡ください。

連絡先 : joe-levin01@outlook.jp

《重要》< 公開会員名簿への掲載承諾のお願い >

会員相互の交流促進や会の活性化に役立てばと、記載事項を限定した「公開会員名簿」を作成・発行しました。作成に当たっては、名簿への記載についての承諾を必要としておりますので、趣旨に賛同していただける方は、記載を承諾する旨を下記まで連絡願います。

「公開名簿で懐かしい名前を見つけて交流が再開した」といったことになればと考えています。

記

メールの場合 : seki@8011.jp (関 周 宛)

郵送の場合 : 〒114-0034 北区上十条 3-3-16 関 周 宛

《重要》＜ メールアドレス登録のお願い ＞

山口七夕会はライブや各種イベント、ウェブ抽選会など「新しい企画」にどんどん取り組んでいきます。

新しい企画はメールを主用してご案内していきますので、メールアドレスの登録をお願いします。登録されたメールアドレスの中には送信不能のアドレスがあります。

既に登録されている方も確認のため再度登録をお願いします。

【登録方法】

- QRコードリーダ付きのスマートフォンから登録される方は、右のQRコードを読み込んでください。
- パソコンから登録される方は、本文にご自分のメールアドレスを入力して、「seki@8011.jp」 にメールを送信してください。



【事務局からのご案内】

◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(ご連絡がないと会報や市報等の資料が届かなくなってしまう)

◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(会員録の整理などの事務手続に必要となります)

◎会の運営等に関するご意見があれば下記までお寄せください。

★事務局(山口市企画経営課内) 〒753-8650 山口市亀山町2番1号 TEL 083-934-2746
kikaku@city.yamaguchi.lg.jp

【編集後記】

ひと昔前、世の中で怖いものは「地震、雷、火事、オヤジ」と言われていましたが、オヤジの威厳が薄くなったこともあり、最近は「地震、雷、火事、水害」に変わったやに思います。今年だけでも、8月13日の千葉県、8月27日の石川県・富山県、8月30日の福井県と、続いて大きな水害が発生しました。いずれも24時間に300mmを超える降水によるもので、線状降水帯の恐ろしさを目の当たりにしました。6月には山口県でも3日間に亘って350mmの降水があったと聞き、心配しました。令和6年8月の定時総会に引き続きの講演会では、第26代気象庁長官の関田氏から「気象の予測と防災」について伺いました。ハード防災はハザードの強度によっては効果が減少するため、ソフト防災(各人の情報収集と適切な行動)が重要であることを伺いました。また、気象の予想手法はほぼ確立されているものの、線状降水帯の発生メカニズムは十分には解明されていないことも伺いました。「これまでに経験したことのない大雨に警戒してください。」とのアナウンスを毎年耳にする今日、キキクル(気象庁が提供する危険度分布を発表するサイト)も確認しつつ、早期に避難行動をとる決心が大切だと思います。

朝日新聞社の試算によると、2025年度のふるさと納税に係る都道府県別収支は19都道府県が赤字であったそうです。そのうちの一つが山口県であり、25億円の赤字だそうです。赤字の筆頭は東京都で、2,255億円の赤字だそうです。赤字は大都市に多いとの分析がなされています。その文脈では山口県も大都市となりますね。この三段論法の是非はともかくとして、県外に住む愛郷団体メンバーの一人としては、ふるさと納税を通じて引き続き市政運営の応援をしたいと思っています。

機関誌編集長 西村 弘文